

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

|               |                         |
|---------------|-------------------------|
| 化学品の名称（製品名）：  | 耐熱グリススプレー               |
| 製品コード：        | TAC-509                 |
| 会社名：          | 株式会社東洋化学商会              |
| 住所：           | 東京都江東区亀戸9丁目37-1         |
| 担当部門：         | 品質管理部                   |
| 担当者（作成者）：     | 勘造琢二                    |
| 電話番号：         | 03-3685-4351            |
| FAX 番号：       | 03-3637-5276            |
| メールアドレス：      | toyo-info@tksc.jp       |
| 緊急連絡電話番号：     | 総務部 03-3685-4351        |
| 奨励用途及び使用上の制限： | 潤滑剤（高温、高荷重、水、水蒸気のかかる箇所） |
| 整理番号：         | 03010027                |

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

エアゾール：

**区分1**

#### 健康に対する有害性

急性毒性（経口）：

区分外

急性毒性（経皮）：

区分外

急性毒性（吸入－ガス）：

分類対象外

急性毒性（吸入－蒸気）：

分類できない

急性毒性（吸入－粉じん、ミスト）：

区分外

皮膚腐食性／刺激性：

区分外

眼に対する重要な損傷／刺激性：

区分外

呼吸器感作性：

分類できない

皮膚感作性：

区分外

生殖細胞変異原性：

分類できない

発がん性：

区分外

生殖毒性：

分類できない

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

**区分2（心臓）**

**区分3（麻酔作用）**

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

区分外

吸引性呼吸器有害性：

区分外

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）：

分類できない

水生環境有害性（慢性）：

分類できない

オゾン層への有害性：

分類できない

※記載がないものは分類対象外又は分類できない。

### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：**危険**

## 危険有害性情報：

- ・極めて可燃性、引火性の高いエアゾール
- ・高压容器：熱すると破裂するおそれ
- ・臓器（心臓）の障害のおそれ
- ・（麻酔作用）眠気又はめまいのおそれ

## 注意書き

## 《安全対策》

- ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけると。－禁煙。
- ・裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
- ・加圧容器：使用後も含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
- ・粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入しないこと。
- ・取扱い後は、手などの各部をよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙しないこと。
- ・粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・容器を接地すること。アースをとること。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・環境への放出を避けること。

## 《応急処置》

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- ・皮膚（又は髪）に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを装着していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当を受けること。
- ・火災の場合：消化するために粉末消火器、耐アルコール性泡消火器又は炭酸ガスを用いて消化すること。

## 《保管》

- ・日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。涼しいところに保管すること。
- ・換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・施錠して保管すること。
- ・水回りや湿気の多い場所を避け換気の良い場所で保管すること。
- ・子供の手の届かないところに保管すること。

## 《廃棄》

- ・内容物、容器を廃棄するときは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物（エアゾール製品）〔成分：潤滑油基油（鉱油）、ブタン他〕

成分情報及び含有量：

| 化学名又は一般名（別名） |           | CAS 番号  | 濃度又は濃度範囲（含有率） | 官報公示整理番号（化審法） | 安衛法対象物質 | PRTR 法報告物質 |     |
|--------------|-----------|---------|---------------|---------------|---------|------------|-----|
| 内容液          | 潤滑油基油（鉱油） | 非公開     | 30～40%        | 非公開           | 該当      | 対象外        |     |
|              | 増稠剤（ウレア）  | 非公開     | 10%以下         | 非公開           | 非該当     | 対象外        |     |
|              | 潤滑油添加剤    | 非公開     | 1.0%以下        | 非公開           | 非該当     | 対象外        |     |
| 噴射剤          | プロパン      | 74-98-6 | 5.0～15%       | (2)-3         | 非該当     | 対象外        |     |
|              | ブタン       | イソブタン   | 75-28-5       | 10～20%        | (2)-4   | 該当         | 対象外 |
|              |           | ノルマルブタン | 106-97-8      | 30～40%        | (2)-4   | 該当         | 対象外 |

※潤滑油基油の成分中に鉱油（安衛法の表示又は通知対象物質）を含有するが、鉱油のCAS番号は特定できない。

#### 4. 応急処置

吸入した場合：

- ・蒸気を吸い込んで、気分が悪くなった場合には空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、必要に応じて医師の診断を受けること。
- ・できるだけ速く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合：

- ・付着物を布で拭取り、多量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。
- ・溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

眼に入った場合：

- ・直ちに多量の清浄な流水で15分以上洗う。
- ・まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・出来るだけ速く眼科医の診断を受けること。

飲み込んだ場合：

- ・誤って飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

#### 5. 火災時の措置

消火剤： 炭酸ガス、粉末、泡、乾燥砂

使ってはならない消火剤： 棒状水

火災時の措置に関する特有の危険有害性：

- ・火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。
- ・消火活動には距離を十分にとること。

特有の消火方法：

- ・初期の火災には、粉末、炭酸ガス、泡、砂等の消火剤を用いる。
- ・棒状水の使用は、火災を拡大して危険な場合がある。大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- ・高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

消火を行う者の保護： 消火作業は、耐熱性着衣、自呼吸式呼吸器等の適切保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- ・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- ・付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項： 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

- ・漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
- ・衝撃、静電気にて、火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ・少量の場合：乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて、密閉できる容器に回収する。
- ・大量の場合：盛土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。この際、下水、側溝等に入り込まないように注意する。

二次災害の防止策： 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- ・高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること。

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）：

- ・火気のある所では取り扱わないこと。
- ・火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- ・火の中に入れてはいけないこと。

- ・取り扱いは換気の良い場所で取り扱うこと。
- ・容器はその都度キャップもしくは密栓する。
- ・密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業すること。
- ・局所排気、全体換気のある場所で取扱い、通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。
- ・裸火、白熱体に向けて噴射しないこと。
- ・40℃以上のところで取り扱わない。
- ・40℃以上に暖めない。

安全取扱い注意事項：

- ・エアゾール製品の場合、30秒以上連続使用しないこと。（ただし、連続噴射式、全量噴射式製品を除く。）

接触回避：

- ・周囲で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- ・静電気対策のため、装置等は接地し電気機器類は防爆型（安全増）を使用する。
- ・工具は火花防止型工具を使用すること。
- ・作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。

衛生対策： 取扱後は手、顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

安全な保管条件：

- ・高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど、温度が40℃以上となる場所に置かないこと。
- ・日光の直射や湿気、凍結をさけて通風の良いところで保管すること。
- ・容器は常にフタ（キャップ）を上に向けて置き、使用済み容器については一定の場所を定めて集積すること。
- ・施錠して保管すること。
- ・子供の手の届かないところに保管すること。

安全な容器包装材料： 情報なし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：

- ・取扱設備は防爆型を使用する。
- ・排気装置を付けて、蒸気がしない滞留しないことにする。
- ・液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースが取れるように設備すること。
- ・取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。
- ・屋内塗装作業の場合は、発生源の密閉化、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。
- ・取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度及び許容濃度：

| 成分  |           | 管理濃度<br>(ppm) | 許容濃度 (ppm)                    |                               |
|-----|-----------|---------------|-------------------------------|-------------------------------|
|     |           |               | 日本産業衛生学会                      | ACGIH                         |
| 内容液 | 潤滑油基油（鉱油） | 未設定           | 3mg/m <sup>3</sup> （鉱油ミストとして） | 5mg/m <sup>3</sup> （鉱油ミストとして） |
|     | 増稠剤（ウレア）  | 未設定           | 未設定                           | 未設定                           |
|     | 潤滑油添加剤    | 未設定           | 未設定                           | 未設定                           |
| 噴射剤 | プロパン      | 未設定           | 未設定                           | 1,000                         |
|     | イソブタン     | 未設定           | 未設定                           | 1,000                         |
|     | ノルマルブタン   | 未設定           | 500                           | 1,000                         |

保護具：

呼吸器の保護具：

- ・有機ガス又は防毒マスクを着用する。
- ・密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具： 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質（不浸透性）の手袋を着用する。

眼の保護具： ゴーグル型保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具：

- ・取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
- ・化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他： 静電塗装作業の場合には、通電靴を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

|                  | 内容液                          | 噴射剤            |               |               |
|------------------|------------------------------|----------------|---------------|---------------|
|                  |                              | プロパン           | イソブタン         | ノルマルブタン       |
| 外観（物理的状態、形状、色など） | 淡黄色～黄色                       | 無色気体           | 無色気体          | 無色気体          |
| 臭い               | —                            | —              | —             | —             |
| pH               | —                            | —              | —             | —             |
| 融点・凝固点           | —                            | -189.7℃        | -159.4℃       | -138℃         |
| 沸点、初留点及び沸点範囲     | 250℃以上（推定値）                  | -42℃           | -11.7℃        | -0.5℃         |
| 引火点              | 86℃                          | -104℃          | <-56℃         | -60℃          |
| 燃焼又は爆発範囲の上限・下限   | 7.0～1.0vol%                  | 9.5～2.1vol%    | 8.4～1.8vol%   | 8.4～1.8vol%   |
| 蒸気圧              | —                            | 0.744MPa (20℃) | 0.34MPa (20℃) | 0.21MPa (20℃) |
| 比重（相対密度）         | 0.825g/cm <sup>3</sup> (15℃) | 0.50           | 0.6           | 0.6           |
| 溶解度              | 水に不溶                         | 水に不溶           | 水に不溶          | 水に不溶          |
| n-オクタノール／水分配係数   | —                            | —              | —             | —             |
| 自然発火温度           | —                            | 450℃           | 460℃          | 365℃          |
| 粘度（粘性率）          | 4.7mm <sup>2</sup> /S (40℃)  | —              | —             | —             |
| 流動点              | -40℃                         | —              | —             | —             |
| 揮発性              | なし                           | —              | —             | —             |
| 蒸気比重             | —                            | 1.60           | 2.00          | 2.10          |

## 10. 安定性及び反応性

反応性： 情報なし。

化学的安定性：

- ・常温で暗所に貯蔵、保管された場合、安定である。
- ・通常の取扱いにおいては安定である。

危険有害反応可能性： 強酸化剤との接触を避ける。

避けるべき条件： 混蝕危険物質との接触。

混蝕危険物質： ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触をしないよう注意する。

危険有害な分解生成物： 燃焼の際は、煙、一酸化炭素、NO<sub>x</sub>、亜硫酸ガスの有毒ガスを発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

（危険有害物質を対象）

| 成分        | 急性毒性   |        |                     |        |             |
|-----------|--------|--------|---------------------|--------|-------------|
|           | 経口     | 経皮     | 吸入(ガス)              | 吸入(蒸気) | 吸入(粉じん、ミスト) |
| 潤滑油基油（鉱油） | 分類できない | 分類できない | 区分外                 | 分類対象外  | 分類対象外       |
| 増稠剤（ウレア）  | 分類できない | 分類できない | 区分外                 | 分類対象外  | 分類対象外       |
| 潤滑油添加剤    | 分類できない | 分類できない | 区分外                 | 分類対象外  | 分類対象外       |
| プロパン      | 分類対象外  | 分類対象外  | 区分外<br>(3,889ppm)   | 分類対象外  | 分類対象外       |
| イソブタン     | 分類できない | 分類できない | 区分4<br>(11,000ppm)  | 分類対象外  | 分類対象外       |
| ノルマルブタン   | 分類対象外  | 分類対象外  | 区分外<br>(277,274ppm) | 分類対象外  | 分類対象外       |

## (危険有害物質を対象)

| 成分        | 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 呼吸器感作性又は皮膚感作性                 | 生殖細胞変異原性 |
|-----------|--------------|-------------------|-------------------------------|----------|
| 潤滑油基油（鉱油） | 分類対象外        | 分類対象外             | 呼吸器感作性：分類できない<br>皮膚感作性：分類できない | 区分外      |
| 増稠剤（ウレア）  | 分類対象外        | 分類対象外             | 呼吸器感作性：分類できない<br>皮膚感作性：分類できない | 区分外      |
| 潤滑油添加剤    | 分類対象外        | 分類対象外             | 呼吸器感作性：分類できない<br>皮膚感作性：分類できない | 区分外      |
| プロパン      | 区分外          | 分類できない            | 呼吸器感作性：分類できない<br>皮膚感作性：分類できない | 分類できない   |
| イソブタン     | 区分外          | 区分外               | 呼吸器感作性：分類できない<br>皮膚感作性：分類できない | 分類できない   |
| ノルマルブタン   | 分類できない       | 分類できない            | 呼吸器感作性：分類できない<br>皮膚感作性：分類できない | 分類できない   |

## (危険有害物質を対象)

| 成分        | 発がん性   | 生殖毒性   | 特定標的臓器毒性<br>(単回ばく露)  | 特定標的臓器毒性<br>(反復ばく露) | 吸引性呼吸器有害性 |
|-----------|--------|--------|----------------------|---------------------|-----------|
| 潤滑油基油（鉱油） | 分類できない | 分類できない | 分類できない               | 分類できない              | 区分1       |
| 増稠剤（ウレア）  | 分類できない | 分類できない | 分類できない               | 分類できない              | 区分外       |
| 潤滑油添加剤    | 分類できない | 分類できない | 分類できない               | 分類できない              | 区分外       |
| プロパン      | 分類できない | 分類できない | 区分3（麻酔作用）            | 分類できない              | 分類対象外     |
| イソブタン     | 分類できない | 分類できない | 区分2（心臓）<br>区分3（麻酔作用） | 分類できない              | 分類対象外     |
| ノルマルブタン   | 分類できない | 分類できない | 区分3（麻酔作用）            | 分類できない              | 分類対象外     |

## 1.2. 環境影響情報

## (環境有害物質を対象)

| 成分        | 生態毒性        |              | オゾン層への有害性 |
|-----------|-------------|--------------|-----------|
|           | 水生環境有害性（急性） | 水生環境有害性（長期間） |           |
| 潤滑油基油（鉱油） | 区分外         | 区分外          | 分類できない    |
| 増稠剤（ウレア）  | 区分外         | 区分外          | 分類できない    |
| 潤滑油添加剤    | 区分3         | 区分3          | 分類できない    |
| プロパン      | 分類できない      | 分類できない       | 分類できない    |
| イソブタン     | 分類できない      | 分類できない       | 分類できない    |
| ノルマルブタン   | 分類できない      | 分類できない       | 分類できない    |

残留性・分解性： 情報なし。

生態蓄積性： 情報なし。

土壤中の移動性： 情報なし。

一般注意事項：

- ・漏洩時、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いには注意すること。
- ・特に、製品や洗浄水が、地面、川、排水溝に直接流れないようにする。

## 1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

- ・事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理するか、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

- ・廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- ・投棄禁止。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。
- ・廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても廃棄物の処理および清掃に関する法規に従って処理することか、委託すること。
- ・内容物に塩素系添加剤を含むため、燃焼すると有害な塩素ガスが発生する。
- ・特定管理産業廃棄物に（廃油）に該当するので、許可の受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。

汚染容器・包装：

- ・必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄すること。また、廃棄の際にガスやミストの吸入、付着について注意すること。
- ・エアゾール製品については焼却処理をしないこと。
- ・内容物や容器については都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託すること。

#### 14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号： UN No. 1950

品名（国連輸送品名）： エアゾール

国連分類： クラス 2.1（引火性高圧ガス）

国内規制

陸上規制情報： 消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海上規制情報： 船舶安全法に定めるところに従う。

航空規制情報： 航空法に定めるところに従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

- ・取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
- ・容器からの漏れがないことを確認し、運搬中荷崩れで転倒、落下による容器の損傷が起こらないように十分な手段を講じる。

応急措置指針番号： 126

#### 15. 適用法令

特定化学物質排出管理促進法（PRTR法）： 第1種 2,6-ジターシャリ-ブチル-4-クレゾール

労働安全衛生法：

- ・第57条の2施行令第18条の2別表第9（名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物）：  
 鉱油、2,6-ジターシャリ-ブチル-4-クレゾール、ブタン
- ・施行令第1 危険物（可燃性のガス）： プロパン、ブタン
- ・施行令別表第6の2 有機溶剤： 非該当

毒物及び劇物取締法： 非該当

高圧ガス保安法： 適用除外（液化ガス 可燃性ガス）

消防法： 危険物 第4類 第3石油類 危険等級Ⅲ 潤滑油（非水溶性）

船舶安全法： 高圧ガス（エアゾール）

航空法： 高圧ガス（エアゾール）

#### 16. その他の情報

引用文献：

- ・GHS 対応 SDS-ラベル作成ガイドブック-改訂第2版（日本化学工業協会）
- ・各原料メーカーの製品安全データシートおよび安全データシート（MSDS/SDS）
- ・化学物質等法規制便覧（化学工業日報社）
- ・GHSに基づく化学品の危険物有害性情報の伝達方法-  
 ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）JIS Z 7153（2012）
- ・GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7252（2014）
- ・安全衛生法令要覧 平成28年度（中央労働災害防止協会）
- ・原料メーカー発行の安全データシート

記載内容の取り扱い：

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改訂されることがあります。

記載内容は、現時点で入手した資料や文献等の情報に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

全ての化学製品には、未知の危険性や有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

本書には通常の危険性や有害性について記載してありますが、記載内容以外の危険性や有害性が存在しないことは、保障できません。

注意事項は、通常の手取扱いを対象としたものであり、特別な手取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策をご実施の上、手取扱い願います。